

文化財防犯チェックシート



1 犯罪や不道徳行為をやりにくくする空間作りをしている

☐ はい ☐ いいえ

「一帯が神聖で、大切にしている場所であること」を、看板等を多言語化するなどして、日本人だけではなく外国人観光客にも明示しましょう。

2 定期的な巡回を実施している

☐ はい ☐ いいえ

巡回の死角がないか確認し、巡回箱を設置するなどして効果的な巡回をしましょう。
建物の規模や拝観者数に応じた人員を配置して、雑踏事故防止に努めましょう。

3 出入口や窓の施錠を強化している

☐ はい ☐ いいえ

南京錠や鎖は、一見頑丈にみえますが、解錠されたり、切断されるおそれがありますので、より強度のあるものに取り換えたり、複数の施錠器具を取り付けましょう。

4 陳列してある文化財に外部から容易に近づくことができない

☐ はい ☐ いいえ

文化財に展示用ケースを設置したり、周囲に柵を設けるなどして、盗難、損壊等の被害防止に努めましょう。

5 防犯設備を設置している

☐ はい ☐ いいえ

建物や収納場所、拝観場所に応じて、防犯機器（防犯カメラ・防犯センサー・防犯灯）を設置しましょう。

機器の作動状況を定期的に点検し、必要に応じて設備の増設も検討しましょう。

さらに「防犯カメラ作動中」の看板を掲示することで、より高い抑止効果が得られます。

6 積極的な「あいさつ・声かけ」を行っている

☐ はい ☐ いいえ

拝観者に積極的なあいさつ・声かけをし、不審者が侵入しにくい環境をつくりましょう。

また、職員同士の声かけを行い、相互の意思疎通を図りましょう。

7 文化財の特徴、状態を記録化している

☐ はい ☐ いいえ

文化財の特徴や状態を写真やビデオ撮影により記録化しておくことで、文化財に対する被害が判明したときの資料に活用できます。

8 異常が発生した際の通報体制を確立している

☐ はい ☐ いいえ

不審者の侵入や盗難等は、素早い通報が事件解決につながります。

警察や関係箇所への通報マニュアルを作成するなどして、緊急時に備えましょう。

9 地域住民との交流を持っている

☐ はい ☐ いいえ

地域住民や防犯ボランティア団体と交流を図り「地域ぐるみで防犯」に取り組みましょう。



盗難や損壊等の被害が発生すれば、そのままの状態での保存し、すぐに警察へ通報、併せて市町村担当課にも連絡をお願いします。

令和 7 年 9 月 1 2 日
奈良県警察本部生活安全企画課
文化財保安官